



広報みまた



々々堂風威

三股小から発水場へ向かう
消防団員の分列行進

〈三股小前にて 1月14日〉

55 / 2月号

二百六十四人が成人

主張発表も堂々と

昭和五十五年の成人式は、晴天に恵まれた一月五日武道体育館で行われ、男百二十一名、女百四十三名の計二百六十四名が大人の仲間入りをしました。

前日まで心配された天候も、この日は晴れ、成人者も久々に会った友人との語らいに、顔をほころばせ、胸をはずませていました。

式は午前十時から始まり、成人者代表の森敏美君(釜池)に町長より、成人証書と記念樹(町の花サツキ)が贈られました。



答辞を通べる佐々木さん



未来への夢に

胸はずませて!



成人式受付風景

未来への明るい希望を胸に……すがすがしい顔々



華やかな成人式風景

その後、議長、青年連協長などから、「大きな夢と希望に胸をよくらませて、今日の成人式を迎えられたことでしょう。

現在は皆さん方のような、若いエネルギーに満ち、勇気と情熱をもった行動を社会は大いに期待しています。

これからは一社会人として、しっかりと大地を踏みしめ、一歩ずつ確実に自分の道を歩いて下さい。」とお祝いのことばを受けました。

これを受けて成人者を代表して佐々木優子さん(東原)が、「本日はありがとうございます。私達は未熟な点が多く、これからの毎日が本当の意味で勉強だと思えます。お寄せ戴いたお言葉をしっかりと体得し心身の錬磨と知識技術の研鑽に努め、社会の一員として豊かな郷土建設のために努力し

頼もしい町のまもり

本町消防出始め式は、新春の一月十四日、三股小学校グラウンドで行われました。

中村修一団長以下百五十名の団員消防ポンプ車二台、補給車一台積載車七台、小型ポンプ七台が勢揃いして、人員、機械器具など、規律正しくテキパキした動作で点検を受けました。

その後、都城自衛隊のラッパ隊を先頭市人パレードを行い、「火災から人命、財産を守ろう。」と呼びかけました。

引続いて五本松児童公園に於いて、多くの町民が見守る中で一斉放水を披露。きびきびした動作と放水の列に見物席から歓声があがりました。

また、都城消防署も応援にかけつけ、役場庁舎屋上からの人命救出や、地上三十五メートルのハンゴ車による放水は見ごたえがありました。

このあと再び会場を三股小に移し開会式が行われました。

成績及び優良団員の表彰は次のとおりです。

- 一位 第二部
- 二位 第三部
- 三位 第五部
- 県知事賞 本部 上水 漸
- 県協会長賞 三部 内村定治



発水準備を終え副団長に報告する各部

- 本部 原田和好
 - 一部 野崎正八
 - 七部 潮崎裕治
 - 感謝状 上原豊作
 - 都城支部長賞 優良部 第一部
 - 四部 次木安紀
 - 五部 馬渡一義
 - 感謝状 桑畑雅博
 - 町長賞 黒木三博他十三名
 - 団長賞 児玉光雄他十三名
- 春の火災予防運動
- 二月二十九日から春の全国火災予防運動が行われます。
- 火の元にはくれぐれも注意を!! 「これくらい、と思う油断を火が狙う!」

ます。」と決意を述べました。

このあと木野田毅君(東原)と永井由美子さん(山王原) 福永良一君(釜池)の三名が「成人となって」と題して次のような主張発表をしました。



木野田毅君

現在学生の身であり、先ず自分の目標を達成したい。これから



永井由美子さん

三股町役場に勤務しているが色々な面で未熟である。先輩達の教えを守って



福永良一君

早く立派な公務員になりたい。自分は職場の中の小さな歯車の歯であるけれども、今後は人に迷惑をかけるにない様に自分自身で努力を重ねて行く決意を新たにしたい。

都城市内の会社員であり世の中の変動を正確にとらえることが出来る。今後は自分の思った事を卒直に述べ、また先輩の教えを忠実に聞きながら郷土の発展に微力を尽したい。

活発な意見を交換

新春懇談会

「対話と協調」を基本に、明るく、住みよい、豊かな町づくりを目指す本町は、計画的に各種の事業を推進していますが、町では、一月十一日、老人福祉センターで新春懇談会を開催しました。

これは年の始めに、町民との対話の機会を持つことと、地方の時代と言われる八十年代の夜明けに、もう一度我が町をみつめ直そうという目的で開催されたものです。

会場には町内の各機関や団体の代表者、議会議員、それに役場の各課長など約八十名が参加して、新春にふさわしい、建設的な意見交換が行われました。

みんなの手で!

町では、町長が町民との対話を基本に打ち出しているところから今後広く町民の皆さんと気軽に話し合える場として、「町長との懇談会」(仮称)を設けたいと考えています。

方法としてはいろいろな機関や団体(婦人会、SAP、スポーツクラブ、理容組合、和牛グループなど)の会員5~6人と町長との話し合いを座談会形式で行ってみたいと考えています。

私達の町をよくするためには、いろいろの方法があると思いますが、町の財政をはじめ、あらゆる事業の推進に当っては町民の皆様方に御理解を戴くことと同時に、皆様方の御意見を拜聴することが何よりも大切だと思っています。このような観点から今後少しでも多くの方々との話し合いを進めて行きたいと考えています。

方法や進め方について御意見がありましたらぜひお聞かせ下さい。(人事企画課)



講演する亀本氏

町づくりはみんなの手で!



講演に聞き入る参加者

新春懇談会では、開会行事に引続いて県地域政策課長の亀本和彦氏が「地方の時代における行政のあり方と、住民の役割」と題して約一時間半にわたり講演をされました。

その後補見吉雄(元議長)を議長に懇談が行われました。

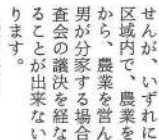
懇談の主な内容
田田 稔氏



農家の長男は後継者として宅地(農地)に住宅が出来るが、会社員である二男、三男には住居の建設は出来ないか。



永吉都市計画課長



この場合、その土地の譲渡、地目変更、農地転用などいろいろありますが、いちがいに言えませんが、いずれにせよ市街化調整区域内で、農業を営んでいない世帯から、農業を営んでいない二、三男が分家する場合は、農の開発審査会の議決を経なければ、建築することが出来ないようになっております。



黒本正敏氏

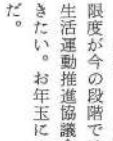
成人式に参加して女性の服装が華美なのに驚いた。洋服で気軽に洋装出来るよ



岩崎教育長



成人式については一口で結論は言えない。特に女性の服装については鹿児島県内では鹿児島県内では鹿児島県内では鹿児島県内では



立山新生活協議会 新生活運動推進協議会



お年玉、成人式、お年玉、それに昔典返し等が話題になっている。今年はお年玉から、この問題に取組み検討したい。

特色ある公民館に

昭和五十四年度の公民館大会は去る二月三日、中央公民館で、各地区公民館の指導者約七十名が参加して行われました。

開会行事に引続いて、第二地区の時任綱吉館長、第五地区の松山重次館長、第六地区の柳橋國彦館長がパネラーとして、それぞれ地区内の活動事例と、今後の活動の方向を発表しました。

公民館大会は毎年行われていますが、今年には地方の時代の始まりにふさわしく、自分達の地区の特色を見直して、「地域に即した公民館活動の充実をはかろう」をテーマに活発な意見の交換が行われ、有意義な大会でした。



有意義に終わった公民館大会



桑畑町長

陳情したのではない。農林省の事業から長田地区から余分の水を高畑に通して、高畑ダムに貯水して、宮ノ原地区の畑地かんがいを図る計画である。具体的な内容についてはまだ聞いていない。「以上」



近一年中に整備して、お客様に迷惑をかけるないようにしたい。時任綱吉氏

高畑にダムを作るのと聞いたが、これは町当局より陳情されたのか。ダムを作るには長田の方が水量も多いので有利だと思ふ。



森岡工務課長

お説のとおりである。駐車場については、用地はすでに確保している。



永吉商工会長

つつしが丘は施設も整い、またPRも効果的で有名になり、時期になると多数の客が訪れて大変良いことである。しかし駐車場が狭いのでどうかして欲しい。

町の話題



畜産文庫を設置 上原豊作氏が寄贈

町畜産課にこの程畜産文庫が設置されました。これは上原豊作獣医師が、畜産農家のために役立てて欲しいと、金10万円を寄贈されたもので、町としては氏の意志を汲んで畜産文庫を設置し、農家の人々に広く活用してもらいたいと呼びかけています。
なお上原氏は、昨年町文化賞を受賞されています。



酷寒の中水中で魚取り

長田牧野の園田昌万(まさかず)さんは根っからのガメ(魚取りの好きな人)で、本人は三度のメシより好きだそうです。
正月料理用の魚などは、買った覚えがない位というので驚いた。
大雪の降った翌日の2月6日園田さん宅を訪れたら、今からもうりに行くとの事、通称ガメ沼に案内された。残雪がありつらな下がつたガメ沼にもぐること15分40センチメートル、1.5キログラムもある鰻2尾をモリでしとめて上がった来られた。本人はいたって平気、見ている私は防寒着に身をつつみたく火にあたってはまた寒さに震えていた。



矢ヶ淵に錦鯉を放流

釣り大会を4月上旬実施
町淡水漁業協同組合では、去る1月23日、眼鏡橋で知られる矢ヶ淵公園に錦鯉を放流しました。
これは釣客で賑わっている沖水川に、同組合が毎年行っているものです。今回放流されたのは、黄金錦鯉で例年より大きく、一尾あたり平均1.3キログラムが約200尾で、橋からはそれらの群がはつきり見え、道行く人の目を惹かせてくれます。しかし矢ヶ淵は禁漁区ですから釣りは出来ません。同組合では4月上旬に第2回の釣り大会を岩下橋下流で実施する計画です。



300人が参加 健康走ろう会

新春の1月20日、第1回健康走ろう会が開催されました。
4才の幼児から最高65才まで総勢300人が参加し、自己の体力と健康度に挑みました。

成績は次のとおり(小学生のみ)
距離 性別 1位 2位 3位
1.5K 男 瀬戸口茂樹 岩元 剛 富永 義和
女 大坪 夕子 上水 文子 中西 知子
3.0K 男 大坪 久人 蔵元 博文 政野 誠
女 広島三佐子 時任 洋子 満行 真美



御苦労様でした 今村児童厚生委員

児童厚生委員の今村文江さんがこのたび委員の職を辞されました。今村さんは、昭和48年から児童厚生委員として長田児童館に勤務され、児童達に大変慕われていました。町長からの感謝状を手にした今村さんは「感謝して貰うようなことはしていないので恥ずかしい位です。本当にありがとうございます。」と心から礼を述べられていました。

館内一杯に笑いと汗 町婦人体育まつり

町婦人連絡協議会(会長田中小波)では、1月27日武道体育館で、婦人体育まつりを開催しました。この体育まつりは日頃体育に親しむ機会の少ない婦人の体位体力の向上と、婦人相互の親睦を深める目的で、昭和50年度から毎年行っているものです。
各地区毎にチームを編成し、団技やリレー、踊りなどに約500名の参加者も終始にぎやかに楽しい1日をご過ごしました。成績は次のとおり
第1位 4地区 第2位 7地区 第3位 5地区



子牛史上最高の高値 肥育農家は深刻

今年第1回の子牛のせり市が、2月1日から9日まで家畜市場で開かれました。
今回のせり市は、今年の子牛の価格の動きを占うものと、各方面から注目を集めていましたが、史上最高の高値で取引が行われ、生産農家には明るい見通しが立ち、幸先良い初せりでした。
しかし一方、この子牛を素牛に飼育している肥育農家にとっては、素牛の高値で経営は苦しくなり深刻な悩みとなっています。



難民へ援護資金 町立病院職員

三股町立病院(院長森実彦)では1月23日、ベトナム、カンボジア等の難民への資金援助活動を行い、同日町福祉生活課長へ日本赤十字社宮崎県支部への振込みを依頼しました。
この援護活動は、テレビ、新聞等で、紛争による荒廃した国土で飢えと病いに苦しむ人々の惨状を見聞するうちに、職員の中から話が持ち上がり「自分達の今の生活とは比較にならない、少しでもよから全員で援護しよう」と、この日実施したものです。



お知らせ

●昼間でも前照灯を

二月一日から自動二輪車及び原動機付自転車については、昼間でも前照灯をつけることになりました。これは二輪車同志のみでなく左折時の巻き込み、追越し時の接触等の事故が多く、その原因のほとんどが二輪車に気がつかないためです。

そこで県では二月一日から十二月三十一日まで、「二輪車前照灯昼間点灯運動」を実施することになりましたので、運転者の御協力をお願いいたします。

●父子世帯の医療費を助成

本町の十二月定例議会で「父子世帯の医療費を助成する条例が、制定され、今年一月より実施されています。この条例は郡内では始めて、県内でも三番目の制度化で父子世帯には大変喜ばれています。

この条例の対象者は、配偶者(妻)がいなくて、二十才未満の子供を扶養している父子世帯となっています。医療費の助成、その他について詳しいことは、町福祉生活課に問い合わせ下さい。

昭和五十五年二月十八日

●電話移転の手続きは早目に!

転居や転勤、増改築など、電話移転工事は少なくとも十日位の余裕をみて申し込んで下さい。特に三月から四月にかけては、異動時期と重なり窓口が混雑します。

電話局では、あらかじめ予約日を決めて工事をしていきますので、出来るだけ早目に申込みされるよう心掛けて下さい。

●所得税の申告と納税は三月十五日まで

もうお済みですか……
所得税の確定申告と納税は3月15日まで!!



〈税務署〉

●冬の磯・船釣りには細心の注意を!!

県内では、正月早々から釣り人の事故が相次いでいます。

本県の近海岸は、冬期には特に、一見静かに見えても、磯場等では思わぬ高波が発生し、あっという間に波にさらわれる例がよくありますので次のことを守りましょう。

・低い岩場は波をかぶることが多

第一四五号

く、危険です。低い岩場での釣りはやめましょう。

・沖の瀬に渡る時は、船頭さんの意見や注意をよく聞き、無理な注文をしない様にしましょう。

・天気予報を参考に、天気をよく見定め、必ず救命胴衣を着用しましょう。

●あなたも子ども劇場に参加してみませんか?

「子どもたちに夢を!!」
たくましく豊かな創造力を!!
こんな願いをこめて誕生した
都城子ども劇場は親と子と青年とがふれ合う文化活動をすすめる会です。

◎子ども劇場は会費制で、いつでもだれでも会員になれます。

◎子ども劇場はみんなの会費(月額五百円)で運営されます。

※三股では現在三十名の会員がおります。詳しいことは上新上杉延子 電話二一三七二〇番まで問い合わせ下さい。

愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では忌明け寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたしますと共に社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。

昭和五十四年十二月十五日から
昭和五十五年二月七日まで

寄付者	故人名	地区	金額
小牧八平	母 トミ	轟木	二万円
久保トシエ	夫 重親	大さ	一万五千円
上石忠光	母 テノ	谷	二万円
崎田ミサオ	父 計蔵	寺柱	二万円
飯田平二	妻 セイ	上米	三万円
別府光次	妻 ハルエ	植木	一万円
清永邦雄	母 ハル	東原	三万円
大坪ハルエ	夫 実光	蓼池	二万円
坂元マス	夫 栄	梶山	三万円
児玉安弘	祖母 スミエ	大野	三万円
大崎正健	妻 ナミ	仲町	拾万円
黒江千鶴子	夫 清隆	稗田	一万円
原田三子	父 熊二	上米	一万円
花田ハルエ	父 銀次郎	植木	一万円

2月の納税 固定資産税 第4期

三股町の人口

昭和55年2月1日現在

人口	17,407人	出生	24人	死亡	8人
男	8,224人	転入	94人	転出	50人
女	9,183人	世帯数	5,352戸	前月比	+60人

発行 一 埼玉県北諸県郡三股町

編集 人事企画課